

核兵器廃絶へ歩き続けて50年！

平和行進ニュース3

2008年6月24日

国民平和行進京都実行委員会

京都市中京区壬生仙念町 30-2

ラポール京都内 京都原水協気付

075-811-3203 Fax075-811-3213

京都府・京都市に非核・平和の要請

6月23日(月)は、京都実行委員会として通し行進者を中心に京都府と京都市に対し、要望書をもとに要請行動をおこないました。要請には、中央通し行進者の米山幸子さん、志谷泰雄さんをはじめ4人の府内通し行進者、京都府職労、京都市職労、新婦人、京都原水協、近畿原爆訴訟の京都の原告・大坪郁子さん、広島で被爆した花垣ルミさんら計12人が参加しました。

京都府への要請(写真)では、非核宣言自治体が9割近くに達していることを重く受けとめ非核京都府宣言を行うこと、具体的な平和施策を持つこと、原爆訴訟の全面解決へ国に働きかけることなどを強く要望しました。先月、原爆症として認定された原告の大坪さんは、府からの認定通知が大幅に遅れたことを指摘し、被爆者の思いを真剣に受けとめた対応を求めました。

京都市への要請では、非核・平和都市宣言にもとづく平和施策の具体化、昨年10月に全会一致で可決された原爆症認定制度の改善を求める市議会意見書を尊重した国への働きかけ、閉庁日でも平和行進へのメッセージをすることなどを要望、京都市は全国指定都市として原爆症認定制度の改善を国に求めていることを明らかにし、今後も働きかけを強めることを表明しました。



府南部の網の目コース実施(6月17, 18日)

東京・広島コースの京都入りを前に、昨年につづき全市町村を歩くことをめざし、府南部の網の目行進を実施しました。6月17日は井手町、宇治田原町、18日は和束町、笠置町、南山城村を行進し、「非核・平和施策に関する要望書」にもとづき行政当局と懇談、その後地元の人たちと町内を行進し、核兵器廃絶を訴えました。



和束町では、堀忠雄町長名でペナント、「すみやか」署名に記名、昨年なかった町長のメッセージについても検討を約束しました。また、「非核平和宣言」20周年にあたり原爆展を開催してはとの呼びかけに、前向きに検討することを表明しました。

南山城村では、手仲圓容村長と懇談(写真左)しました。手仲村長は、平和の問題では意見が異なる面はあるが、「核兵器は絶対に認められない」と明言し、メッセージ、ペナント、すみやか署名や非核日本宣言への賛同などについてはこれまで通りの対応を検討したいと表明しました。